

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年12月9日
 派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	公益社団法人大日本報徳社		代表者名	鷲山恭彦
担当者部署	事務局		連絡先電話番号	0537-22-3016
担当者役職	事務局長	担当者氏名	綱取清貴	連絡先E-mail
住所	436-0079 静岡県掛川市掛川1176			

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	掛川市	連絡先部署	IT政策課	
担当者氏名	神谷孝	連絡先電話番号	0537-21-134	連絡先E-mail

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡本 真
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	報徳文化研究所の開設に向け抽象的だった事柄が具体化でき、また、実現に向け試行としての実践1年目、2年目、3年と短期、中期的に何に取り組み進んでいくのか参加した職員、役員で共有化できた。
アドバイザーへの要望事項	引き続きご支援ご助言等をお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2021年12月3日	9時00分	15時00分	40	320
3-2. 派遣場所	会場名	公益社団法人大日本報徳社		最寄駅	JR掛川駅
	所在地	静岡県掛川市掛川1176		最寄駅からの交通手段	タクシー
	派遣形態	支援・助言 (実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員・役員	14 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	報徳文化研究所の設立の実現に向け、賛同は得られているものの、具体的にどのように進めていくのか漠然とし具体化していない。短期、中期的な計画が描けていないためご助言、ご支援をいただきたい。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	報徳文化研究所の構想をもとに、短期、中長期的にどのように進めていったらよいか、どう展開していくか具体的にイメージできる。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	報徳文化研究所の構想を整理し、リトリートセンターとして本社の建物群を活かした研究所へと捉えなおした提案をいただき、どのように進めていくか、具体的なアドバイスをいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	報徳文化研究所の構想をもとに捉えなおし、また、実現に向け試行としての実践1年目、2年目、3年と短期、中期的に何に取り組み進んでいくのか参加した職員、役員で共有化できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	本社の役員会で提案するための資料作り、課題解決のためのセミナー開催についてなど第三回までの課題とした。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 職員間でその後話し合いの場を持った	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	報徳文化研究所の実現に向け具体的な実践を始める	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

